



関宮学園

学校だより8号
R7. 5. 16

校訓「敬・愛・信」

授業参観、PTA 総会、学級懇談会を行いました

5月10日(土)に多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの様子をご覧いただきました。ありがとうございました。あたたかい雰囲気で行われていることを感じていただければ幸いです。ご欠席の方もいらっしゃいましたので、PTA 総会でご挨拶させていただいた内容を紹介します。

先日、本校の卒業生が進学した先の学校関係者から、「関宮学園からきた子どもたちは、さわやかですね。」と言われました。「気持ちのいいあいさつをするし、まじめに掃除をします。誰に対してもやさしくて、先生が困っていると「何かお手伝いしましょうか。」と声をかけてくれます。」と、その理由を話してくださいました。本校の卒業生がほめられるとうれしくなります。

卒業生だけでなく、在校生を見ていても、「さわやか」という言葉が真っ先に思い浮かびます。朝、校門で立っていると、さわやかなあいさつができます。教室や廊下では、明るく笑顔で話しかけてきます。しかも、礼儀正しいです。授業を参観すると、まじめに学習に取り組んでいる子どもたちを見ることができます。昼休みには、子どもらしく、よく遊んでいます。

このような子どもたちを見ると、我々も「さわやか」な気分になります。

「さわやかさ」は、人から愛される大切な要素の一つだと思います。将来、社会で生きていくうえで、「さわやかさ」は自分を助けてくれるはずです。

子どもたちに負けないよう、さわやかな PTA 活動になるといいなと思います。今年度もよろしくお願いします。

かつて、部活動の顧問をしていた時、考えていたのは、愛されるチーム、応援されるチームになることでした。スポーツは、相手チームがあってこそ試合ができ、楽しめるものです。部員には、「また試合をしたいな」と思われるチームにしようと話していました。

他のチームから愛されるには、「スポーツを楽しむとともに、元気いっぱい前向きに一生懸命にプレーする。気持ちのいいあいさつをする。プレー以外も礼儀正しく行動する。」など、「さわやかな」チームになることが大切だと思います。

このようなことも意識しながら、総体やコンクールまで残り約2か月、子どもたちには部活動に励んでほしいと思います。

授業参観の苦い思い出です。

今から40年以上前、小学生の私は、授業参観ということで、張り切っていました。先生から、「知っている歴史上の人物を発表してください。」と言われ、クラスメイトは、豊臣秀吉、エジソン、野口英世…どんどん発表していきます。私も負けまいと…

その時、教室内の学級文庫が私の目に入りました。そこには、「人物マンガ全集」が並んでいました。「そうだ。その全集のタイトルを一つずつ発表したら、たくさん発表できるぞ。」そして、「ピーターパン!」そう答えると、何となく、微妙な空気になったのがわかりました。「ピーターパンは架空の人物ですね。」と先生。「なぜ、たくさん並んでいたマンガ全集の中から、よりによってピーターパンを選んでしまったのか。」と赤面。やはり、自分の力で答えないとダメだなと思いました。

田植えの時期になりました

5月16日(金)には、5年生が田植えを体験しました。手植えをしました。自分たちが食べているコメがどのようなことができるのか体験することは教育的意義があります。都市部では、体験することができない貴重な活動です。今年も地域ボランティアの皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。子どもたちには、今日までの準備、これからの手間が大変であることも伝えていきます。子どもたちは、自分たちが植えた苗ですから、これから秋まで生育状況に関心をもって観察していくことでしょう。



田植えは日本の原風景です。

今年も別宮の棚田に逆さ氷ノ山が現れたと聞きました。市外から見にこられる方もいらっしゃるようです。棚田に写る氷ノ山も、養父市自慢の絶景です。

田植えといえば、地域の方から、うれしいお知らせをいただきました。「休日に、関宮学園の子どもが、家の田植えの手伝いを家族と一緒にしている姿を見ました。家の手伝いをしている姿に感心しました。」との内容でした。家族の一員として活躍している姿は頼もしいです。

私も先日、我が家の田植えをしました。経験を重ねるごとに、少しずつまっすぐ植えられるようになってきました。近くばかり見るのではなく、少し遠いところに目線を合わせると、曲がり角が少なく植えられます。これは他のことにも言えることで、足下ばかりを見るのではなく、少し先を見て考えることも必要だと思いました。

5月15日(木)から、西村純奈が復帰しています。西村純奈が休んでいる間、教育活動をサポートしていました定岡華は離任します。